

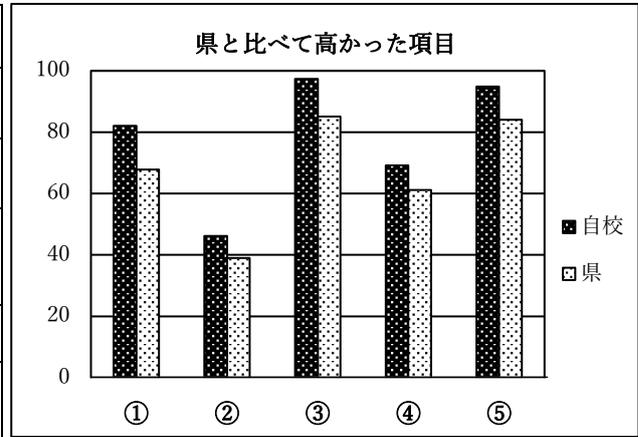
令和6年4月実施

## 6・9年 全国学力・学習状況調査結果及び分析、今後の取組について

### ◆6年 質問調査（生活や学習に関する調査）から

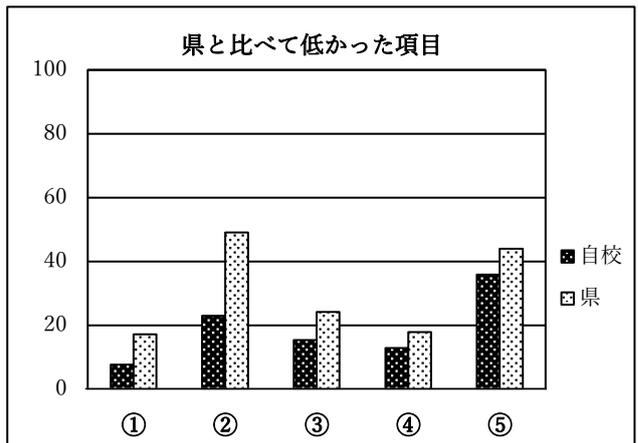
#### 【県の割合と比べて数値が高かった項目】

	調査の項目
①	算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとする
②	授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用する
③	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、表現の工夫に着目する
④	国語の勉強が好き
⑤	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる



#### 【県の割合と比べて数値が低かった項目】

	調査の項目
①	放課後や週末に、学習塾などで勉強している
②	普段(平日)、1日当たり、ゲームをする時間が2時間未満
③	自分の家に、およそ100冊以上の本がある
④	学校の授業時間以外に、普段(平日)、1日当たり1時間以上、勉強のために、PC・タブレットなどのICT機器を使う
⑤	普段(平日)、1日当たり、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをする時間が2時間未満



#### 改善に向けた取組

##### ①【家庭学習時間】

1日の家庭学習の時間を確保するために、課題を見直す。

##### ②【ゲーム時間】

家庭でのゲーム時間を減らすよう、お便り等で促したり、1日のゲーム時間を記録させたりする。

##### ③【家読書】

週末に本を持ち帰り、家での読書を促す。

##### ④【学校外での勉強のためのICT活用】

学習アプリを紹介し、活用を呼び掛ける。

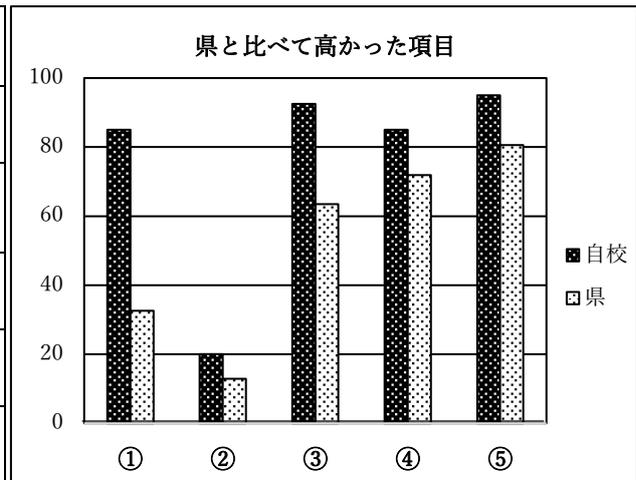
##### ⑤【ケータイ・スマホでのSNSや動画視聴の時間】

家庭でのSNSや動画視聴の時間を減らすよう、お便り等で促したり、1日のSNSや動画視聴の時間を記録させたりする。

◆9年 質問調査（生活や学習に関する調査）から

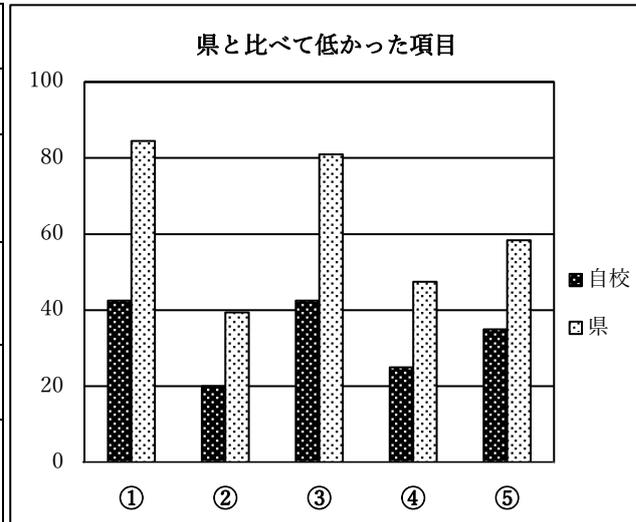
【県の割合と比べて数値が高かった項目】

	調査の項目
①	授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用する
②	学校の授業時間以外に、普段(平日)、1日当たり1時間以上、勉強のために、PC・タブレットなどのICT機器を使う
③	国語の勉強が好き
④	今回の国語の解答時間は十分だった
⑤	国語の授業内容がよく分かる



【県の割合と比べて数値が低かった項目】

	調査の項目
①	英語の授業で、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた
②	普段(平日)、1日当たり、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをする時間が2時間未満
③	英語の授業で、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていた
④	今回の数学の「書く問題」では、全ての問題を最後まで書こうと努力した
⑤	授業の中で、自分の考えを発表するとき、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する



改善に向けた取組

① 【英語で書く活動】

テーマを決めて、自分の伝えたいことをまとめ、英語で表現する活動を行う。

② 【ケータイ・スマホでの SNS や動画視聴の時間】

学校便りや学年便りを通じ、保護者にネットや SNS のことを知らせる。

③ 【英語でのスピーチやプレゼン活動】

文化発表会に向けて、自分の興味あるものについて、ワークシートやタブレットを使って作成し、英語で発表する活動を行う。

④ 【数学の「書く問題」への取組】

ワークブックや演習課題を用いて、数学の「書く問題」により多く取り組ませる。

⑤ 【自分の考えを発表するときの工夫】

朝の会や帰りの会の時間を活用して、1分間スピーチや有明抄の視写に取り組ませる。

## ◆6年 国語科

### 全体の概要

- ・6年国語科の正答率は、県平均と**ほぼ同じ**であった。
- ・県と比べて、数値が特に高かった内容は「読むこと」であった。
- ・県と比べて、数値が特に低かった内容は「言葉の特徴や使い方に関する事項」であった。

特に課題が見られた設問		改善に向けた手立て
【解答形式】選択 【観 点】思考・判断・表現 【内 容】話すこと・聞くこと	≪つまずき要因≫ ・題意を捉えられない。 ・情報を整理できない。	○ 聞いたことをメモして質問する場面を積極的に設けていく。

## ◆6年 算数科

### 全体の概要

- ・6年算数科の正答率は、県平均と**ほぼ同じ**であった。
- ・県と比べて、数値が高かった領域は「数と計算」であった。
- ・県と比べて、数値が特に低かった領域は「データの活用」であった。

特に課題が見られた設問		改善に向けた手立て
【解答形式】短答 【観 点】思考・判断・表現 【領 域】変化と関係	≪つまずき要因≫ ・題意を捉えられない。	○ 文章題に線を引いたり、キーワードにしるしをつけたりすることを習慣化させる。

## ◆9年 国語科

### 全体の概要

- ・9年国語科の正答率は、県平均と**ほぼ同じ**であった。
- ・県と比べて、数値が高かった内容はなかった。
- ・県と比べて、数値が特に低かった内容は「書くこと」であった。

特に課題が見られた設問		改善に向けた手立て
【解答形式】記述 【観 点】思考・判断・表現 【内 容】読むこと	≪つまずき要因≫ ・要約する力が不十分。	○ 文章の中から必要な情報を的確に取り上げる練習をさせる。

## ◆9年 数学科

### 全体の概要

- ・9年数学科の正答率は、県平均を**大きく下回った**。
- ・県と比べて、数値が高かった領域はなかった。
- ・県と比べて、数値が特に低かった領域は「数と式」であった。

特に課題が見られた設問		改善に向けた手立て
【解答形式】選択 【観 点】知識・技能 【領 域】図形	≪つまずき要因≫ ・根拠に基づく文章表現力が不十分	○ 例文を根拠にして、自分の考えを書かせる場面を積極的に設けていく。



全国学調結果とその分析を受けての

## 今後の重点取組

### 小学部

- 読書タイムのさらなる徹底を図る。
- 国語科において、初見の文章を読んで設問に答える宿題に取り組みさせる。
- 算数科において、文章題で問われていることを整理する作業を丁寧に行わせる。
- 週1回程度、算数科の文章題の宿題に取り組みさせる。

### 中学部

- テーマや条件に沿った内容で作文を書かせ、朝の会や帰りの会で発表させる。
- モデルを示しながら、学活ノートの日記をしっかりと書かせる。
- 「有明抄」を活用した宿題に取り組みさせる。